PATLITE®

V95100154	01

カード式音声合成報知器
総合取扱説明書
[TYPE：PV-127A]

株式会社パトライト
PATLITE Corporation

目次

はじめに 3
1. 製品概要 4
2. 型式構成 4
3. 安全上のご注意 5
4. 各部名称と機能 6
5. 取付け方法 9
6. 配線方法 10
6-1. 端子配列と名称 10
6-2. 配線 11
7. 音量調整方法 20
7-1. ボリューム調整 20
7-2. 減音機能 21
8. 設定スイッチ 22
8-1. CH 端子入力 23
8-2. 再生モード 25
8-3. SD カード動作 31
●音声メッセージ書き換え手順 33
●音声メッセージ読み出し手順 34
8-4. 入力取込時間 36
8-5. スピーカー出力 36
9. 再生方法 37
10. エラー表示 38
11. バイナリ変換表 39
12. オプション販売品 41
13. 修理を依頼される前に 43
14. 仕様 45

はじめに

このたびは、カード式音声合成報知器をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。保守・点検や、補修などをするときには必ず本書を読み直してください。
なお、ご不明な点は最終ページに記載の弊社ホームページ”お客様サポート”内にある”お問い合わせ”よりお問い合わせください。

● 本書の表記について

- 再生時間に関する表記は、ビットレート 64kbit/s の MP3 ファイルを使用した場合です。ビットレートが異なる場合、再生時間は異なります。
- SD カードは、別売りの SDV-2GP を使用してください。他の SD カードを使用した場合の動作は、保証されません。
  (☞41 ページ「① SD カード(MP3 音声メッセージ入り)」参照)
- SD カードをフォーマットする際は、FAT16 でおこなってください。FAT16 以外の形式でフォーマットすると、SD カードを認識できません。
- Windows10 等でフォーマットした際、弊社製品にて認識しないフォーマットになる場合があります。その際は、FAT16 のフォーマットが可能な OS にてフォーマットを行うか、SD カードアソシエーションが提供しているフォーマットツールにてフォーマットを行ってください。
  〇SD メモリカードフォーマッター（実行には管理者権限が必要です）
  https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter/index.html

● 著作権について

音楽 CD、または他のメディアから録音あるいはコピーされた著作物を公衆・公共の場所で使用された場合、著作権侵害による法的処罰を課せられることがあります。音楽 CD、または他のメディアから録音、あるいは　コピーされた著作物を使用する場合には、必ず著作権者の承諾を受けてください。

また、株式会社パトライトが配布、または販売する音声・音楽データの著作権は弊社に帰属します。株式会社パトライトの音声・音楽データの内容の一部、または全部を、権利者の許可無く複製・転載、またはネットワークなどで転送したり販売することを禁止します。

● Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、及びその他の国における登録商標です。

● 株式会社パトライトは SD Card Association のメンバーです。

1. 製品概要

本製品は、機器組込み型 MP3 ファイル再生報知器です。音源データに MP3 を採用しているため、高音質な音声メッセージを長時間再生することが可能です。また、登録されている音声メッセージは自由に書き換えることができます。 (最大 127 メッセージまで登録可能)

●高音質・長時間再生

- 本製品の音声メッセージ再生方法は、本体メモリに登録されたメッセージを再生する方法と、挿入された SD カードに登録された音声メッセージを再生する方法の 2 通りがあります。
- 本体メモリに MP3 データを登録する場合、S タイプは最大 128 秒、L タイプは最大 25 秒の音声メッセージを再生することができます。SD カード内の音声メッセージを再生する場合は、別売りの SD カードを使用することにより、長時間再生が可能です。
  （例：音声メッセージの合計データ容量が 128MB の場合、約 240 分再生可能）

●音声メッセージ書き換え・読み出し機能

- SD カードを使用して、音声メッセージを自由に書き換えることができます。
- 本製品へ登録されている音声メッセージを、SD カードへ読み出すことができます。

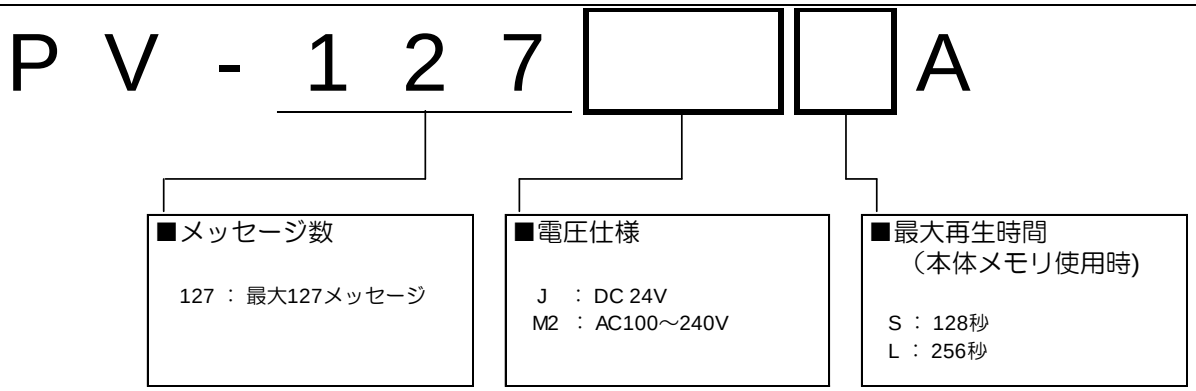
●耐ノイズ性

- 入力取込時間の設定により、ノイズによる誤動作を抑えることができます。

●用途に応じた再生

- 5 種類の再生モードから、使用方法にあわせた再生方法を選択できます。
- 外部信号の制御により、3 段階の再生音量の減音ができます。

2. 型式構成



3. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定されている」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定されている」内容です。

安全のために必ずお守りいただきたいこと

⚠警告

- 配線・本体の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。故障や感電の恐れがあります。
- 配線は間違いのないよう注意してください。配線を間違うと内部回路が焼損し、火災の原因になります。
- 電源は必ず電圧許容範囲内で使用してください。火災や故障の原因になります。
- 製品の分解・改造をしないでください。火災や故障の恐れがあります。製品の修理・点検などは、最終ページに記載の弊社ホームページ”お客様サポート”内にある”お問い合わせ”よりお問い合わせください。
- 工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。

⚠注意

- 本製品は屋内専用です。水・塵埃などの導電性の異物から製品を保護してください。故障の恐れがあります。
- 仕様を超える振動のある場所では使用しないでください。本製品が破損・落下する恐れがあります。
- 工具などをケース内に差し込まないでください。故障の恐れがあります。

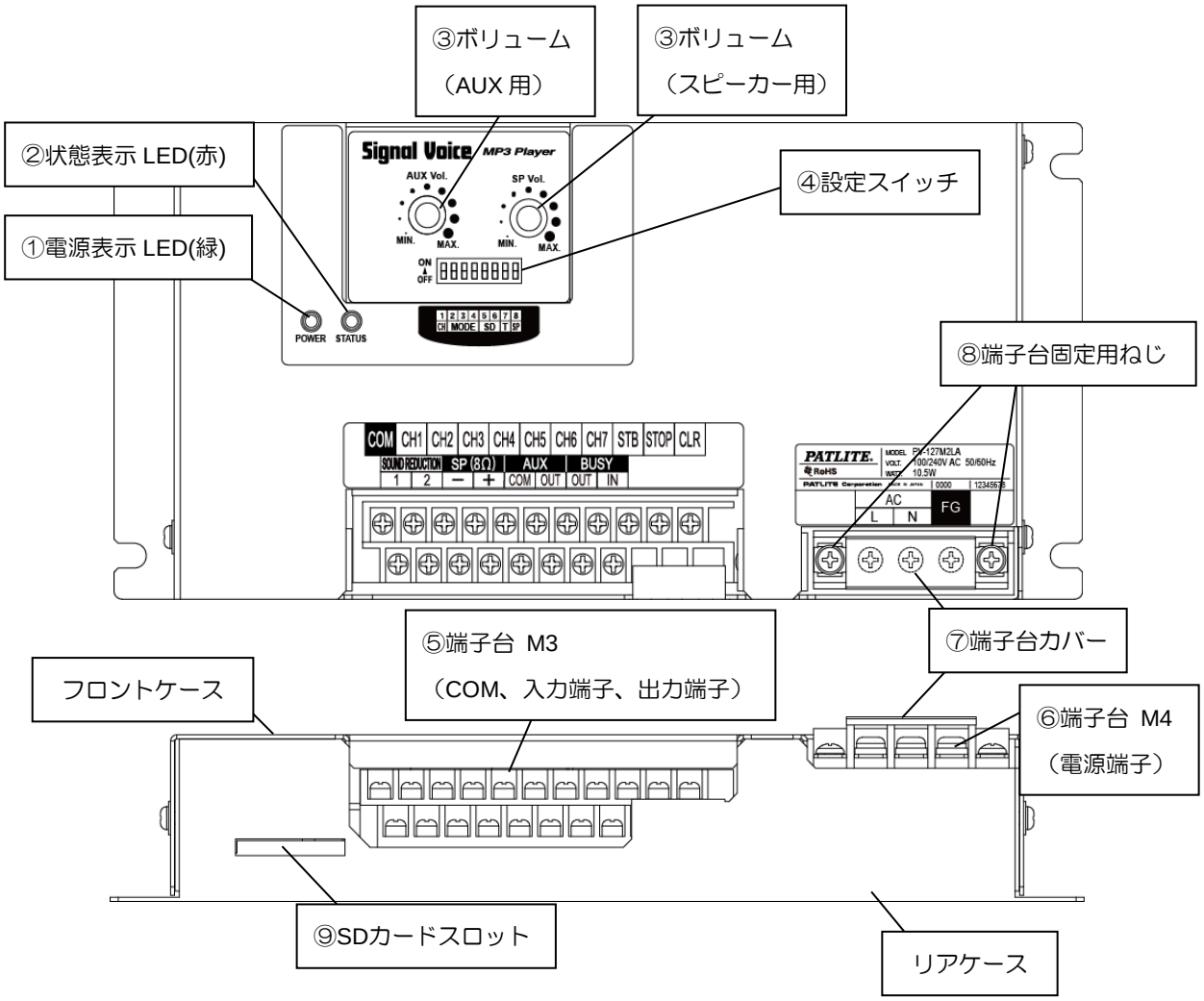
警告及び注意事項に反したお取り扱い、分解・改造や天災などによって生じた故障についての保証はできません。また本書に記載した内容以外での使用は避けてください。

お願い	この表示の欄は、「製品を使用するにあたって、お願いがある事項を表示している」内容です。
お知らせ	この表示の欄は、「製品を使用するにあたって、お知らせがある事項を表示している」内容です。

お願い

- 電源回路および本体内部回路保護のため、外部ヒューズを接続してください。
- 強い電波や誘導ノイズのない環境で使用してください。ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。
- 電源の ON/OFF によるメッセージ再生はおこなわないでください。誤動作の原因になります。
- 腐食性ガスのあるところで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本製品は本書記載の環境条件で使用してください。それ以外の環境では故障の恐れがあります。
- 本製品を安全重視の保安目的で使用する場合には、必ず日常点検を実施し、万一の不具合・故障発生時に対応できるシステム設計をおこなってください。
- 端子台カバー、端子台ねじなどの配線作業をおこなう際に取り外す部品は、なくさないように注意してください。

4. 各部名称と機能



① 電源表示 LED（緑）

通電時点灯します。

② 状態表示 LED（赤）

各種動作に応じて点灯・点滅します。

LED 状態	動作
消灯	待機時、音声メッセージ再生時
点灯	音声メッセージ書き換え時 音声メッセージ読み出し時
点滅	エラー発生時 (☞38 ページ「10. エラー表示」参照)

③ ボリューム（スピーカー用）、（AUX 用）

スピーカー出力、AUX 出力の音量を調整することができます。

(☞ 20 ページ「7-1. ボリューム調整」参照)

④ 設定スイッチ

再生モード、SD カードの動作等の設定をおこないます。

(☞ 22 ページ「8. 設定スイッチ」参照)

⑤ 端子台 M3 （COM、入力端子、出力端子）

各入力、出力を配線します。(☞10 ページ「6. 配線方法」参照)

⑥ 端子台 M4 （電源端子）

電源、FG を配線します。(☞10 ページ「6. 配線方法」参照)

⑦ 端子台カバー

電源端子のショートを防止します。

⑧ 端子台固定用ねじ

端子台 M4(電源端子)を固定しているねじです。このねじは取り外さないでください。

⚠注意

- 本製品を使用する際は、必ず端子台カバーを装着してください。異物などにより電源ショート状態となると、電源を破壊する恐れがあります。
- 端子台固定用ねじは取り外さないでください。故障の恐れがあります。

⑨ SD カードスロット

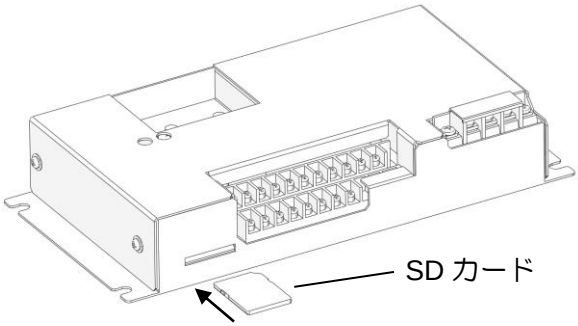
音声メッセージ書き換え、音声メッセージ読み出し、SD カード常設モード時に使用します。

(☞ 31 ページ「8-3. SD カード動作」参照)

【SD カード挿抜方法】

挿入の際は、下図の向きでカチッと音が鳴るまで押し込んでください。

抜く際は、もう一度奥へカチッと鳴るまで押し込んでから引き抜いてください。

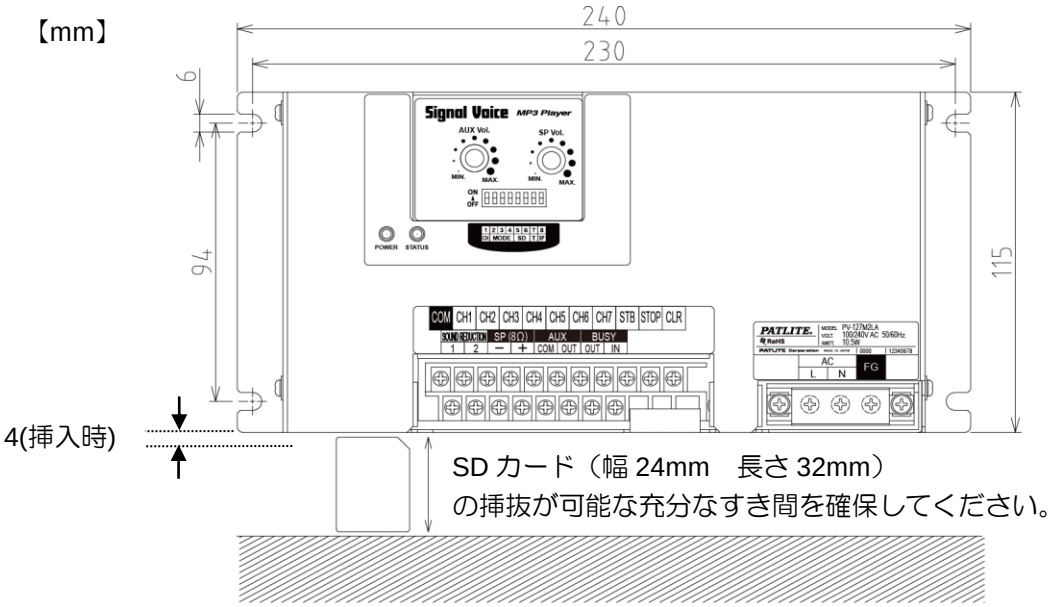


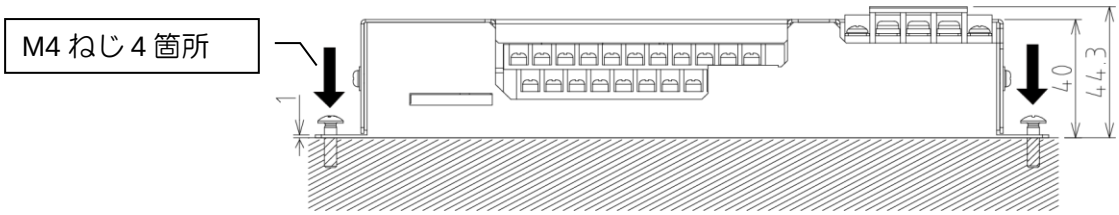
⚠注意

● SD カードスロットに SD カードを差し込む際、方向に注意してください。また、SD カードを無理に押し込まないようにしてください。製品・SD カードが破損する恐れがあります。

5. 取付け方法

下図のように、M4 ねじを使い、4 点で取り付けてください。





⚠警告

●製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。

⚠注意

●取付面は、製品の重さに耐えることができる十分な強度を確保してください。
また、仕様をこえる振動が発生する場所や、車載用には使用しないでください。
製品の落下によるけがや、製品が破損する恐れがあります。

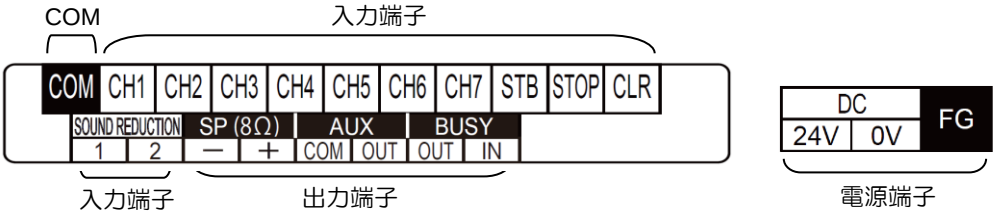
お願い

●高所へ設置する場合は、補修のしやすい足場のある場所を選んでください。

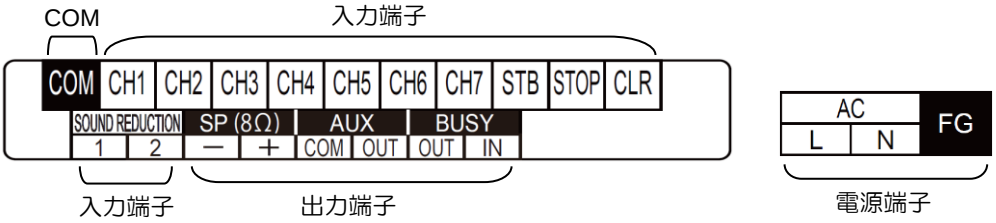
6. 配線方法

6-1. 端子配列と名称

PV-127JA 型の場合



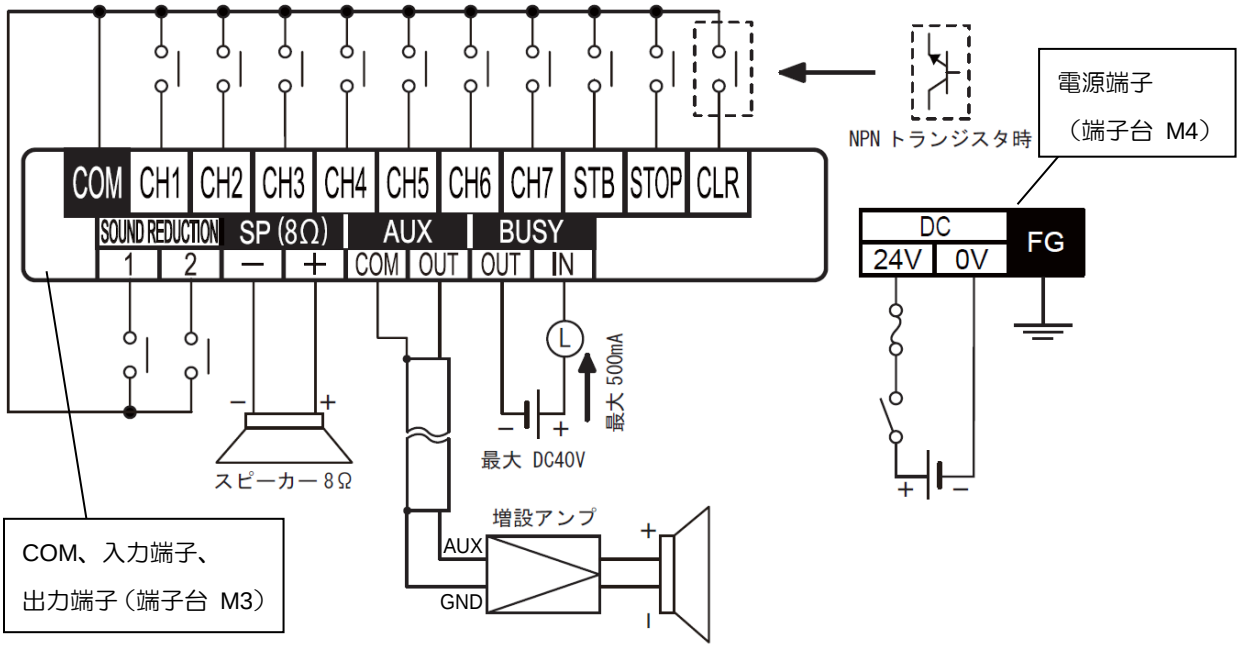
PV-127M2A 型の場合



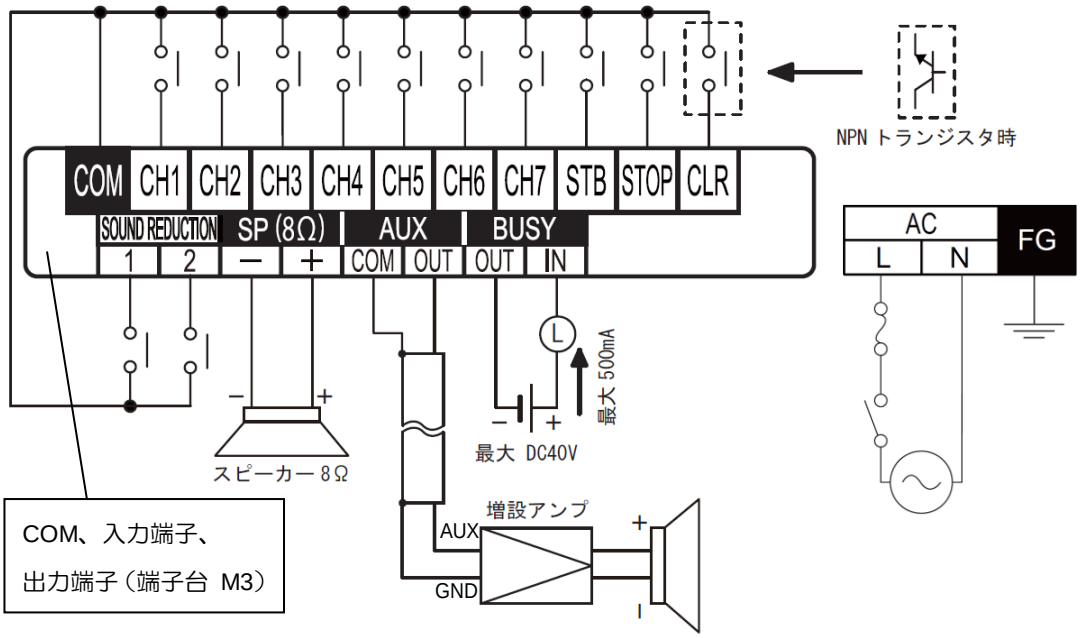
名称	機能
COM	入力端子用のコモン端子です。
CH1～7	音声メッセージ選択用の端子です。COM と短絡することで音声メッセージが選択されます。 選択方式にはバイナリ入力とビット入力があります。 (☞ 23 ページ「8-1. CH 端子入力」参照)
STB	バイナリ入力時、音声メッセージを再生する際に使用します。（ホールド再生モードを除く）
STOP	再生中の音声メッセージを停止します。
CLR	メモリ再生モード時、メモリされている音声メッセージを消去する際に使用します。 他のモードでは STOP と同じ機能になります。
SOUND REDUCTION 1 , 2	入力状態に応じてスピーカー音量、AUX 音量を減音します。 (☞ 21 ページ「7-2. 減音機能」参照)
SP － , ＋	スピーカー接続用端子です。 (☞ 15 ページ「③ スピーカー出力端子の配線」参照)
AUX COM , OUT	増設アンプ接続用端子です。 (☞ 16 ページ「④ AUX 出力端子の配線」参照)
BUSY OUT , IN	音声メッセージ再生中に出力します。 (☞ 17 ページ「⑤ BUSY 出力端子の配線」参照)
24V , 0V または AC L , AC N	電源入力用端子です。各機種に対応した電源を接続してください。 (☞ 13 ページ「① 電源端子の配線」参照)
FG	接地することにより、ノイズの影響を受けにくくなる場合があります。

6-2. 配線

● 配線例（PV-127JA の場合）



● 配線例（PV-127M2A の場合）



● 端子台への配線時には、以下の絶縁皮膜付丸型端子の使用を推奨します。

	サイズ	推奨メーカ	メーカ品番
電源端子	M4	日本圧着端子製造社	N1.25-4（RoHS 対応品）
COM、入力端子、出力端子	M3	日本圧着端子製造社	N1.25-3（RoHS 対応品）

⚠注意

● 入力端子を電源端子および出力端子に接続しないでください。製品を破壊する恐れがあります。

● 配線・取付けの際は、必ず電源を切ってからおこなってください。ショートによる内部回路の焼損の危険があります。

● 端子台の推奨トルクは M3 端子台（COM、入力端子、出力端子）は 0.6N・m、M4 端子台（電源端子）は 1.2N・m です。推奨トルク以上の力で回さないでください。製品が破損する恐れがあります。

お願い

● 電源を入れる前に、配線が正しくおこなわれていることを確認してください。

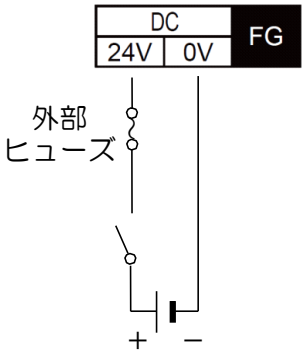
● ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをおすすめします。また、高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。

● BUSY 端子へ電子機器などを接続した場合や、電源線・スピーカー線の引き回し方法によっては、ノイズの影響により、再生音に異常が発生する場合があります。配線の距離や引き回しの変更により、改善することができます。

① 電源端子の配線

●PV-127JA 型の場合

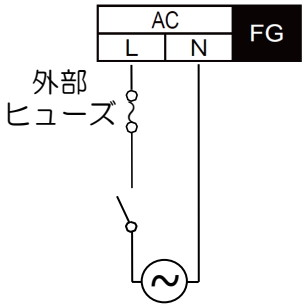
DC24V を接続してください。



消費電流	300mA (DC24V 印加時) (ボリューム最大､-6dB 1kHz 正弦波データ再生時)
突入電流	12A 以下 (DC29V 印加時)
推奨外部 ヒューズ	定格電圧 ： 250V 定格電流 ： 800mA 溶断特性 ： ノーマル A 種

●PV-127M2A 型の場合

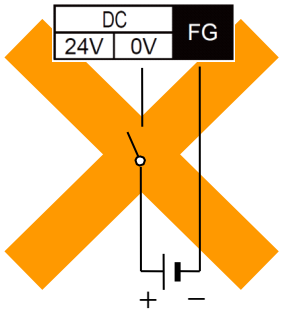
AC100V～240V を接続してください。



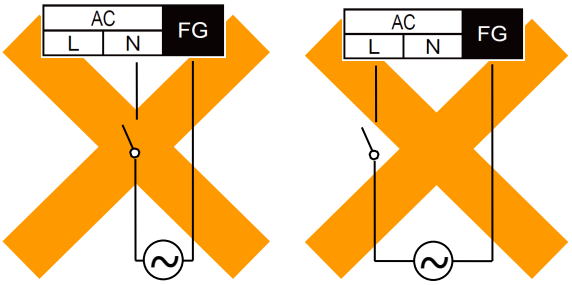
消費電流	160mA (AC100V 印加時) 100mA (AC240V 印加時) (ボリューム最大､-6dB 1kHz 正弦波データ再生時)
突入電流	35A 以下 (AC264V 印加時)
推奨外部 ヒューズ	定格電圧 ： 250V 定格電流 ： 1A 溶断特性 ： ノーマル A 種

⚠注意

●電源配線は間違いのないように注意してください。電源を破壊する恐れがあります。



PV-127JA 間違い事例



PV-127M2A 間違い事例

お願い

●極性に注意して配線してください。

●電源に接続した状態のまま使用する場合は、安全のため本体近くに容易に電源を切ることができるスイッチを設けてください。

●電源配線にリレー・スイッチなどの無電圧接点を使用する場合は、突入電流を考慮したものを選定してください。容量が不足すると、接点の溶着・誤作動の原因となります。

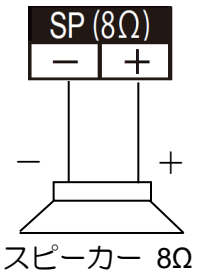
●電源の ON/OFF によるメッセージ再生はおこなわないでください。誤動作の原因になります。

② FG 端子の配線

FG 端子を接地することにより、ノイズの影響を受けにくくなる場合があります。

③ スピーカー出力端子の配線

スピーカーを接続してください。



● 使用できるスピーカーについて

・スピーカーには、別売りの SPW-5E 型(5W)が使用できます。
(☞ 42 ページ「④ ホーン型スピーカー」参照)

・スピーカーをお客様で用意される場合は、下表の仕様のものを用意してください。
スピーカー出力の設定により、使用できるスピーカーが異なります。
スピーカー出力は設定スイッチで切替え可能です。
(☞ 36 ページ「8-5. スピーカー出力」参照)

スピーカー出力を 4W に設定している場合	定格インピーダンス：8Ω 定格入力：4W 以上
スピーカー出力を 2W に設定している場合	定格インピーダンス：8Ω 定格入力：2W 以上

⚠注意

●スピーカーは仕様を満たすものを使用してください。製品やスピーカーが破損する恐れがあります。

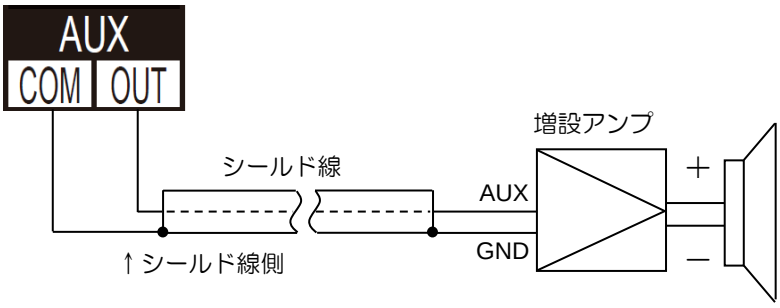
お知らせ

●スピーカーの極性を間違えると音量が低下する場合があります。

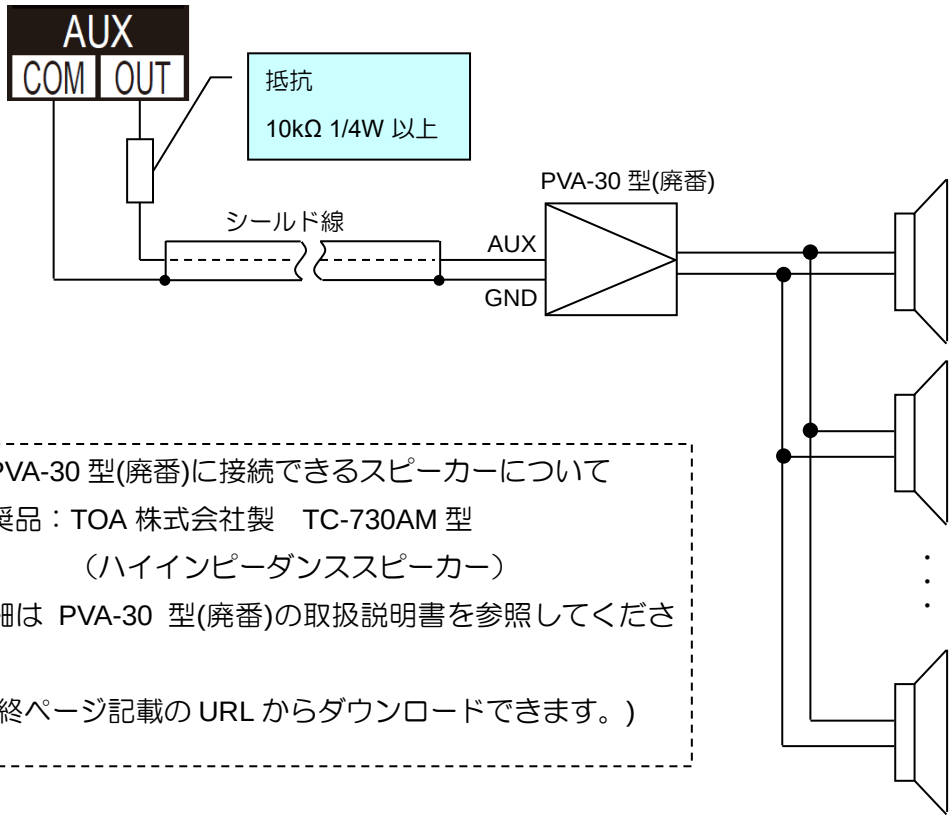
●ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをおすすめします。また、高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。

④ AUX 出力端子の配線

増設アンプを接続することができます。



●別売りの増設アンプ PVA-30 型（廃番）と接続する際は、10kΩ,1/4W 以上の抵抗を挿入してください。(下図参照)



●PVA-30 型(廃番)に接続できるスピーカーについて
推奨品：TOA 株式会社製　TC-730AM 型
（ハイインピーダンススピーカー）
詳細は PVA-30 型(廃番)の取扱説明書を参照してください。
(最終ページ記載の URL からダウンロードできます。)

・ 増設アンプをお客様で用意される場合は、入力感度-20dBV～0dBV、入力インピーダンス 600～10kΩ のものを使用してください。

⚠注意

- アンプは仕様を満たすものを使用してください。製品や増設アンプが破損する恐れがあります。
- PVA-30 型(廃番)と接続する場合、抵抗を挿入せずに増設アンプのボリュームを MAX で使用すると、音割れやアンプ故障の原因となります。

お願い

- ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをおすすめします。また、高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。

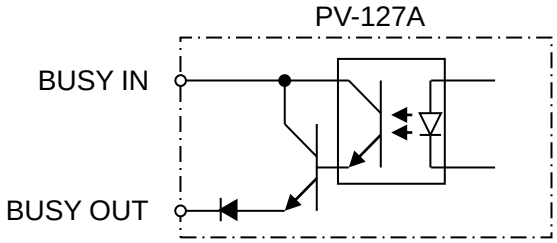
お知らせ

- 増設アンプを出力状態にしたまま本製品の電源を ON すると、ポツ音が出ます。

⑤ BUSY 出力端子の配線

音声メッセージ再生中に出力します。表示灯や回転灯などの機器と外部電源を接続すれば、メッセージ再生中に動作します。
(内部電圧で動作する機器の場合は、外部電源は必要ありません。)

- BUSY 出力端子に接続できる外部電源の電圧は最大 DC 40V です。
- BUSY 出力端子に流すことができる電流値は最大 DC 500mA です。

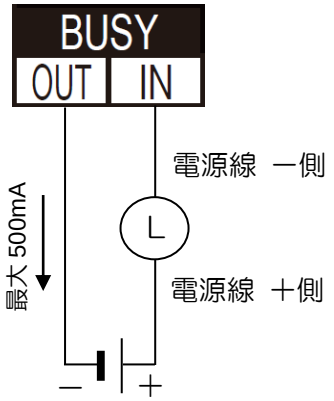


回路構成

【接続例】

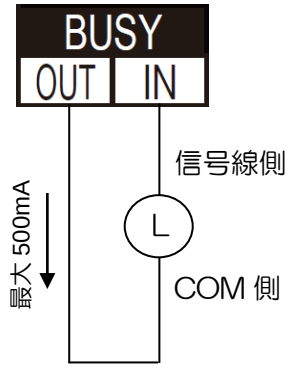
弊社回転灯、表示灯などを接続する場合は、下図のように接続してください。

● 外部機器を電源線制御する場合



外部電源
最大 DC40V

● 外部機器を信号線制御する場合
(NPN オープンコレクタ制御機器の場合)

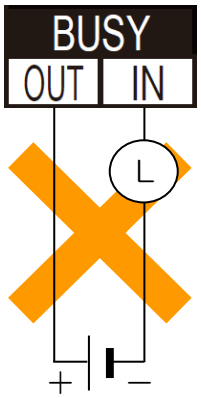


外部機器の内部電圧
最大 DC40V

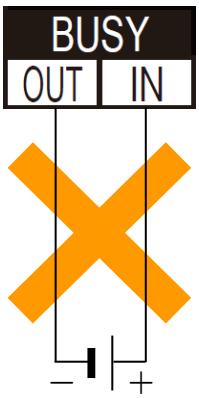
【接続間違い事例】

下図のようには接続しないでください。

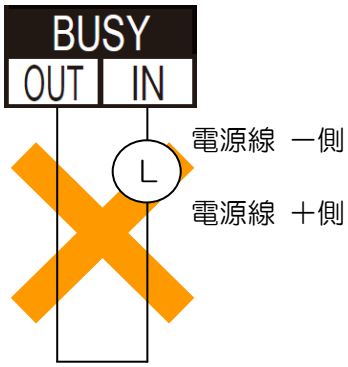
間違い事例 1
（極性間違い）



間違い事例 2
（電源のみ接続）



間違い事例 3
（電源制御時に電源なし）

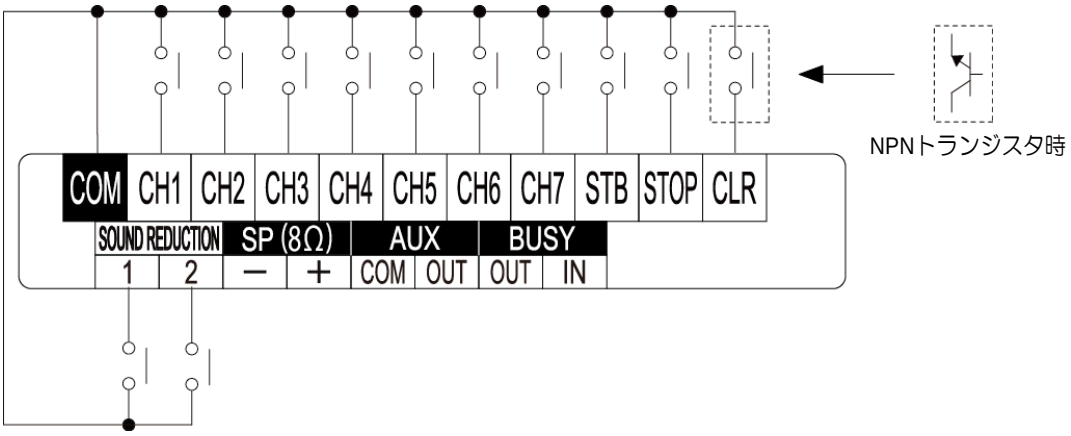


⚠注意

- DC40V 以上の外部電源、あるいは AC 電源を接続すると、内部回路が焼損します。
- 500mA 以上の電流を流すと、内部回路が焼損します。
- 間違い事例 1 ， 2 のような配線をおこなうと、内部回路が焼損します。
- 接続する機器の突入電流は、5A をこえないようにしてください。故障の恐れがあります。

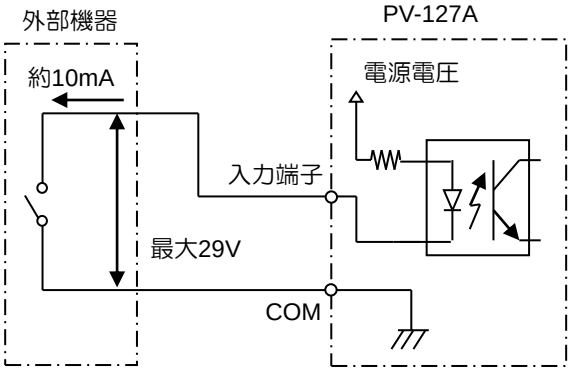
⑥ 入力端子の配線

COM と各入力端子を接続してください。

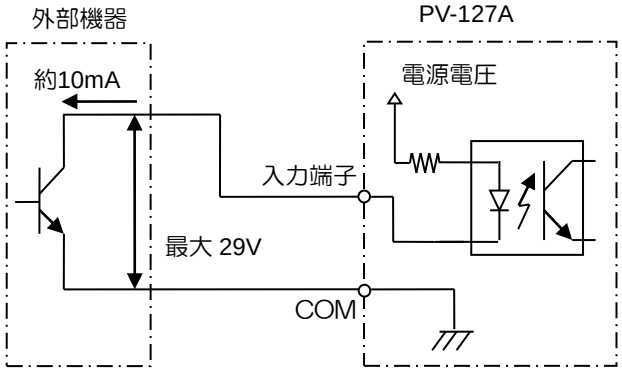


● 入力端子の外部接点には、リレー・スイッチなどの無電圧接点回路、
またはオープンコレクタ回路(NPN 型)を使用してください。

例：無電圧接点回路の場合



例：NPN オープンコレクタ回路の場合



● 接点容量

外部接点は、下表の接点容量を満たすものを使用してください。

電流容量	15mA 以上
耐電圧	DC35V 以上
もれ電流	0.1mA 以下
ON 電圧(Vsat)	1V 以下

⚠注意

● 入力端子を電源端子および出力端子に接続しないでください。製品を破壊する恐れがあります。

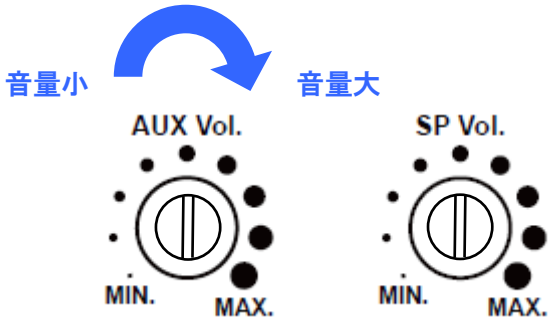
● 外部接点は、必ず接点容量を守って使用してください。接点故障の恐れがあります。

7. 音量調整方法

7-1. ボリューム調整

スピーカー出力・AUX 出力の音量をそれぞれ調整することができます。

- ボリュームの操作は指で軽く回す、もしくは刃厚 1.0mm 以下のマイナスドライバーを使用してください。
  ※使用環境により、音量を最小に設定しても無音にならない場合があります。



AUX 用
ボリューム

スピーカー用
ボリューム

※出荷時設定

⚠注意

- ボリュームは軽く回してください。0.1N・m よりも大きなトルクをかけると、破損する恐れがあります。

7-2. 減音機能

SOUND REDUCTION 1、2 端子の入力状態に応じて、スピーカー出力・AUX 出力を減音します。

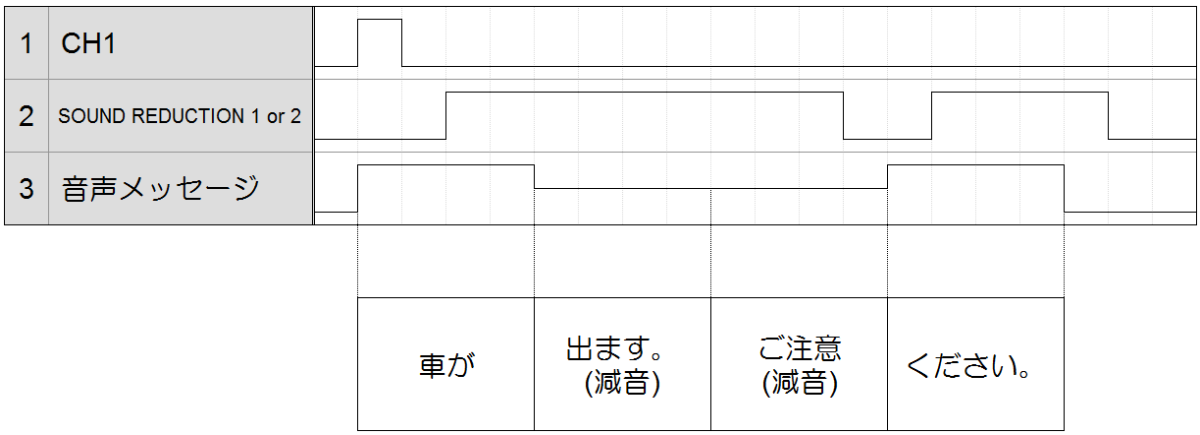
- スピーカー、AUX 出力を個別に減音することはできません。
- 減音レベルについては、下表を参照してください。

SOUND REDUCTION		減音レベル
1	2	
開放	開放	減音しない
COM と短絡	開放	-10dB
開放	COM と短絡	-20dB
COM と短絡	COM と短絡	-30dB

- 減音の入力は、フレーズ毎に減音されます。(下記タイムチャート参照)
  フレーズについては、PATLITE プレイリストエディタ２のヘルプを参照してください。

【タイムチャート】

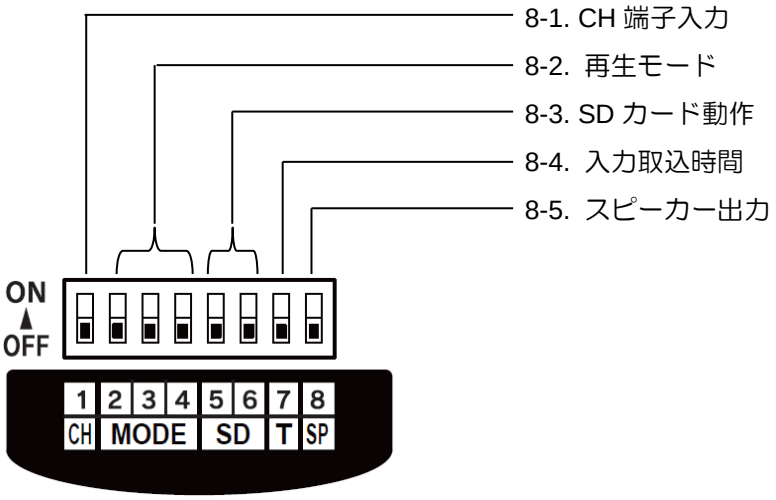
	フレーズ 1	フレーズ 2	フレーズ 3	フレーズ 4
CH1	車が	出ます。	ご注意	ください。



8. 設定スイッチ

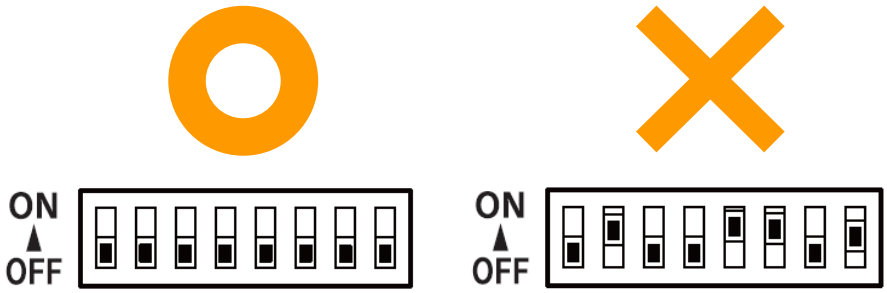
スイッチの切替えにより、各設定をおこないます。

※各設定の変更を有効にするには、電源の再起動が必要です。



お願い

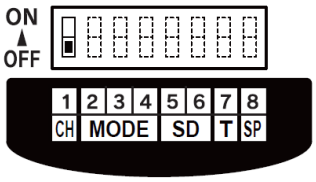
●設定スイッチは必ず図のように、端まで移動させてください。



8-1. CH 端子入力

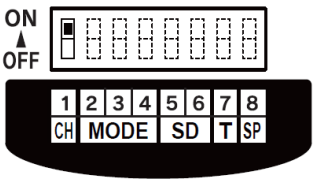
CH 端子入力を、バイナリ入力、またはビット入力に設定します。

バイナリ入力



出荷時設定
（登録メッセージ No.8 以上の場合）

ビット入力

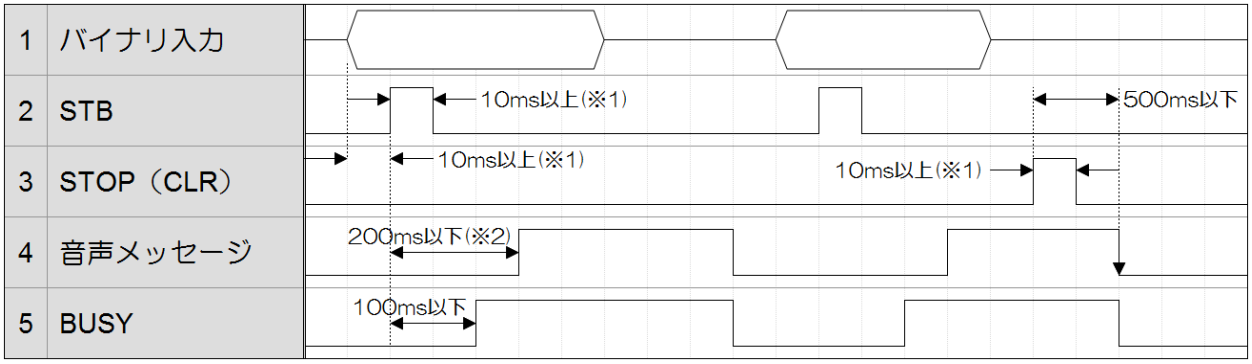


出荷時設定
（登録メッセージ No.7 以下の場合）

バイナリ入力

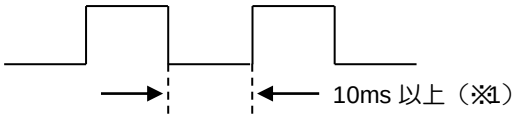
- CH1～CH7 端子を COM 端子と短絡させた状態で、STB 端子と COM 端子を短絡すると、音声メッセージを再生します。
  （ホールド再生モードを除く ）
  ☞ 30 ページ「(E) ホールド再生」参照
  再生するメッセージ No.と CH 端子入力の関係については、
  ☞ 39 ページ「11. バイナリ変換表」を参照してください。
- 最大 127 メッセージの再生ができます。

【タイムチャート】



↓ 再生中のメッセージが停止されたことを表します。

● 入力と入力の間には、10ms 以上(※1)の OFF 期間を設けてください。



● 音声メッセージの起動時間は、音声メッセージの先頭部分に無音がない場合です。

● ホールド再生モード時は、STB 端子は使用しません。(☞ 30 ページ「(E) ホールド再生」参照)

● 詳細のタイムチャートは各再生モードを参照してください。(☞ 25 ページ「8-2. 再生モード」参照)

※1.入力取込時間を 10ms に設定している場合です。入力取込時間を 50ms に設定している場合は 50ms です。

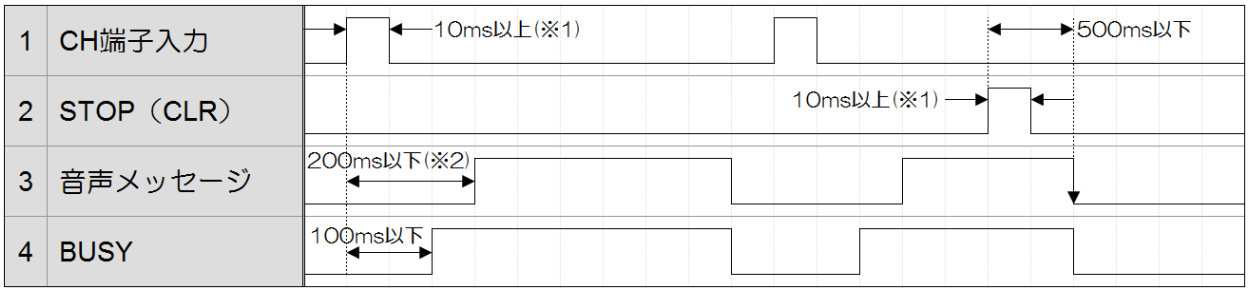
※2.信号線起動時(音声データの先頭に無音部分がない場合)

ビット入力

- CH1～CH7端子とCOM端子を短絡すると音声メッセージを再生します。
  CH1～CH7端子がそれぞれ音声メッセージNo.1～7に対応します。
  STB端子は使用しません。
- 最大7メッセージの再生ができます。
- 同時に2つ以上の入力があった場合、下枠の優先順位に従って入力が選択されます。
  メモリ再生モードでは、優先順位が高いCH端子の順番にメモリされます。
  (☞ 27ページ「(B) メモリ再生」参照)

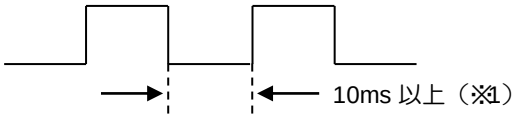
入力優先順位
CLR > STOP > CH7 > CH6 > CH5 > CH4 > CH3 > CH2 > CH1

【タイムチャート】



↓ 再生中のメッセージが停止されたことを表します。

● 入力と入力の間には、10ms 以上(※1)の OFF 期間を設けてください。



● 音声メッセージの起動時間は、音声メッセージの先頭部分に無音がない場合です。

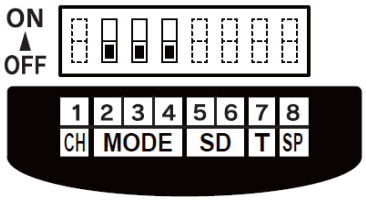
● 詳細のタイムチャートは各再生モードを参照してください。
(☞ 25 ページ「8-2. 再生モード」参照)

※1.入力取込時間を 10ms に設定している場合です。入力取込時間を 50ms に設定している場合は 50ms です。
※2.信号線起動時(音声データの先頭に無音部分がない場合)

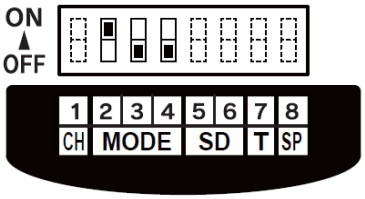
8-2. 再生モード

再生モードを次の(A)～(E) に設定します。

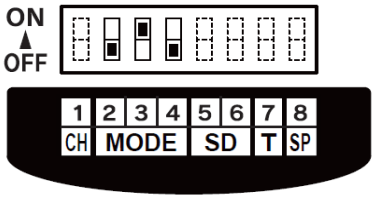
(A) ノーマル再生



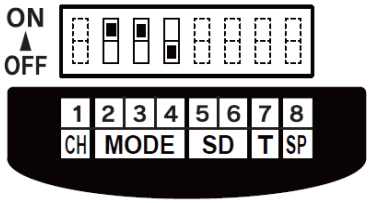
(B) メモリ再生



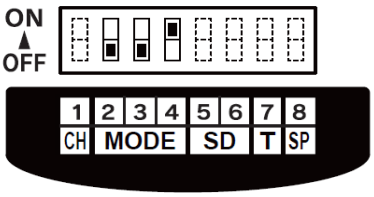
(C) 後入力優先再生



(D) 後入力・上位チャンネル優先再生



(E) ホールド再生



※ 上記以外の設定にした場合は、動作しません。

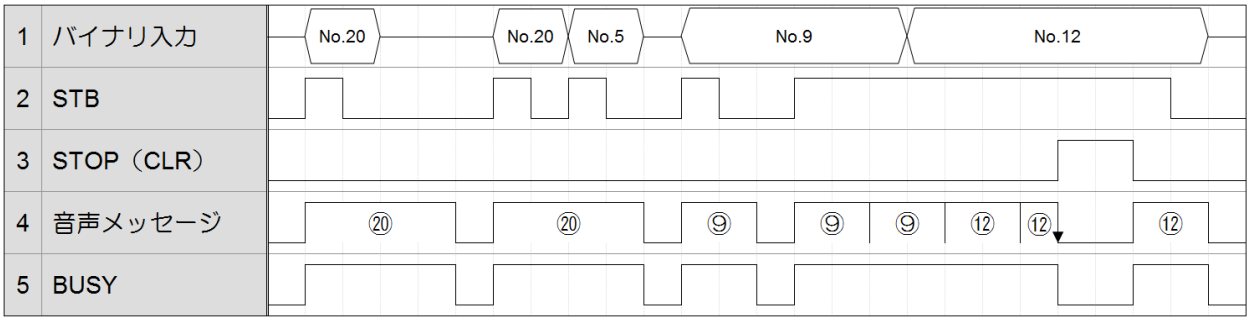
（☞ 38 ページ 「10. エラー表示」参照）

(A) ノーマル再生

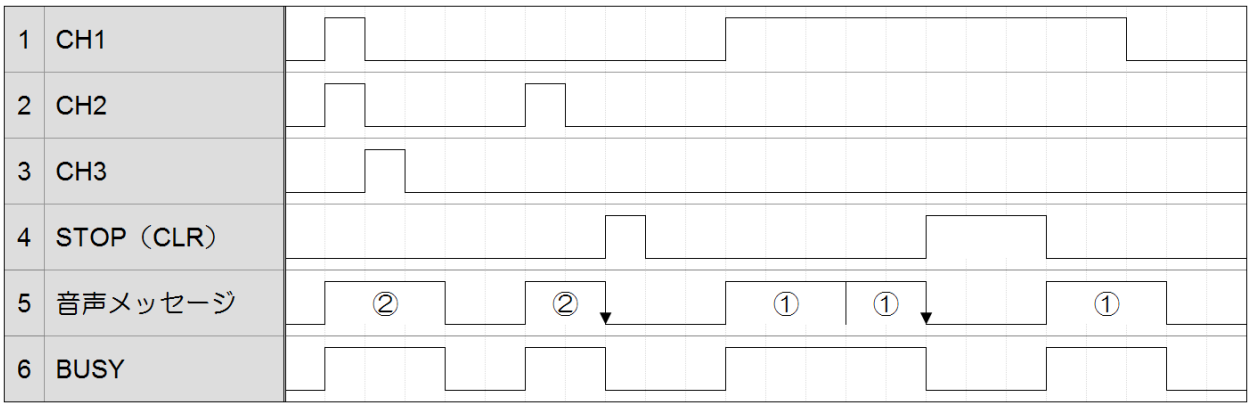
入力に応じて音声メッセージを再生します。入力がワンショットの場合は音声メッセージを1回のみ再生し、入力を保持した場合は再生を繰り返します。

- 音声メッセージ再生中はCH入力が無効となります。
- CLR端子またはSTOP端子に入力を与えることにより、再生中の音声メッセージを停止します。

【タイムチャート　バイナリ入力時】



【タイムチャート　ビット入力時】



⑳・・・No.20 の音声メッセージが再生されたことを表します。

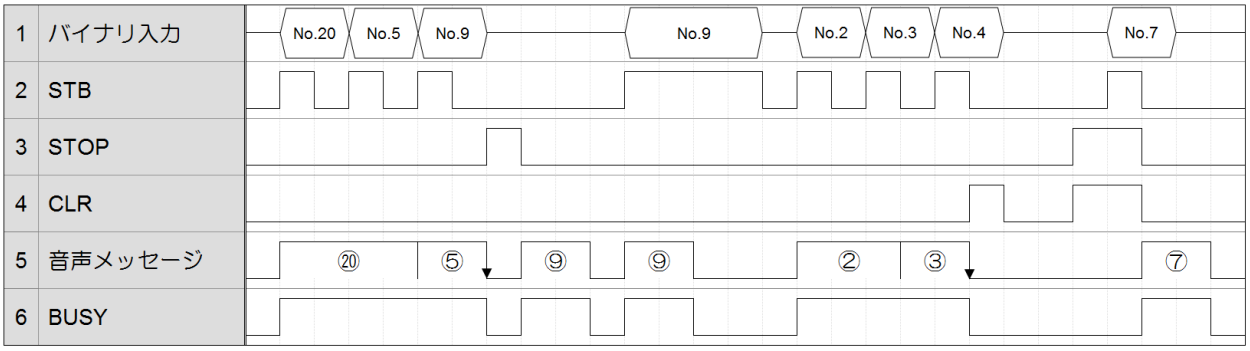
↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

(B) メモリ再生

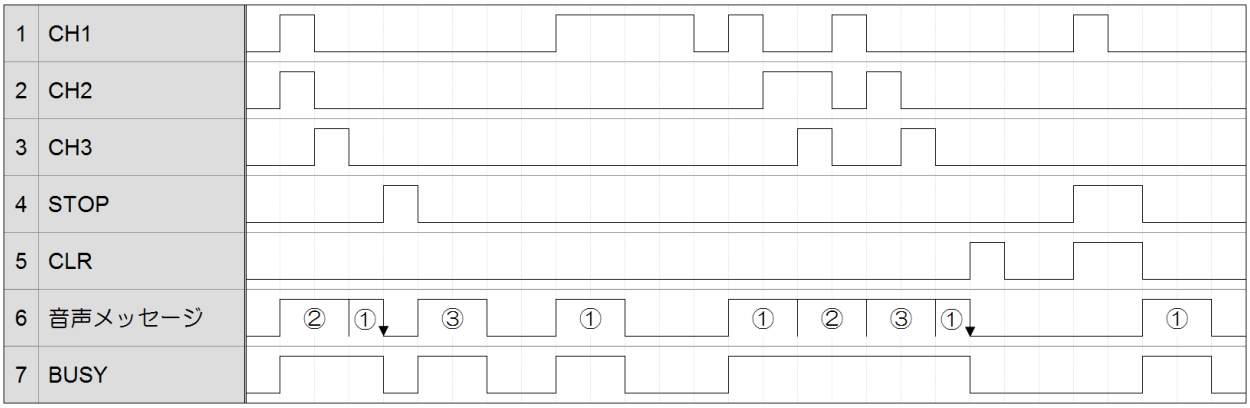
入力された順番に最大 23 の音声メッセージをメモリできます。再生が終了すると、
次にメモリされた音声メッセージを再生します。最大メモリ以上の入力は無効となります。

- STOP端子に入力が与えられると、再生中の音声メッセージを停止し、次にメモリされている音声メッセージを再生します。
- CLR端子に入力が与えられると、再生中の音声メッセージを停止し、メモリされている音声メッセージを全て消去します。
- 入力を保持しても、音声メッセージの再生は１回で終了します。
- CLR端子またはSTOP端子の入力保持中でも、音声メッセージをメモリ可能です。入力を解除すると、次にメモリされている音声メッセージを再生します。

【タイムチャート　バイナリ入力時】



【タイムチャート　ビット入力時】



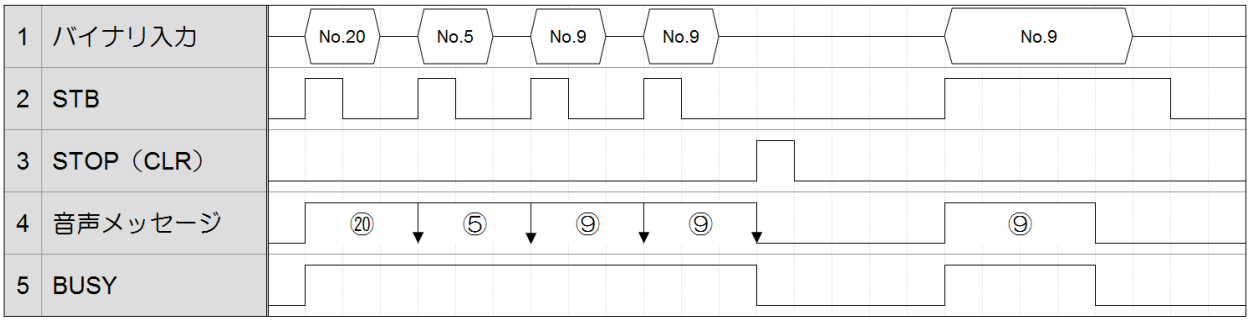
⑳・・・No.20 の音声メッセージが再生されたことを表します。
↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

(C) 後入力優先再生

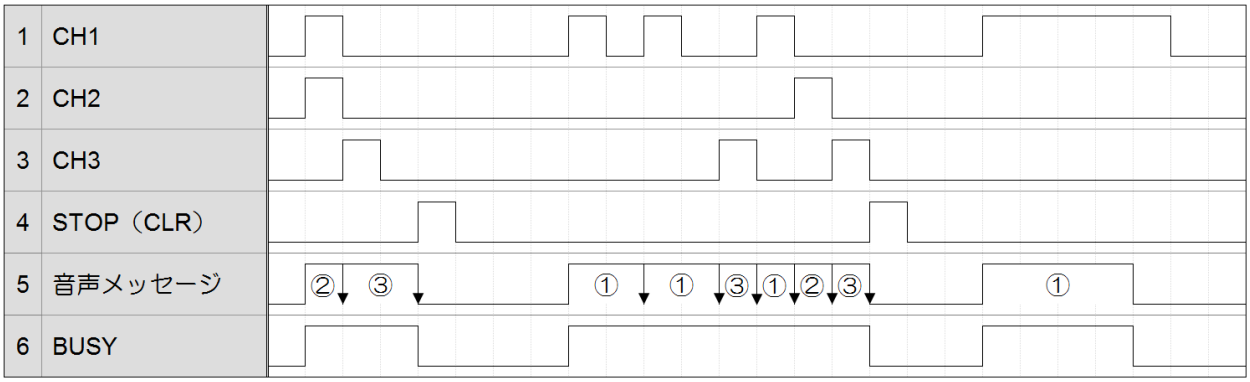
音声メッセージ再生中に次の音声メッセージが入力された場合、再生中の音声メッセージを停止して、後から入力された音声メッセージを再生します。

・ CLR端子またはSTOP端子に入力を与えることにより、再生中の音声メッセージを停止します。
・ 入力を保持しても、音声メッセージの再生は１回で終了します。

【タイムチャート　バイナリ入力時】



【タイムチャート　ビット入力時】



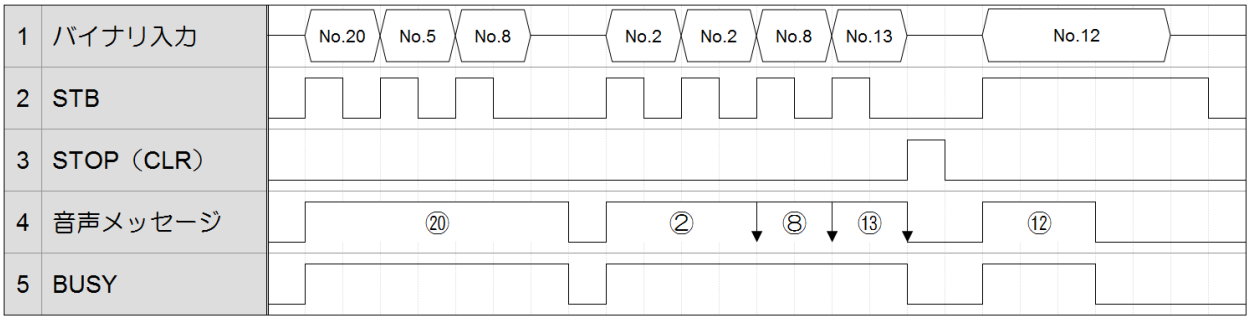
⑳・・・No.20 の音声メッセージが再生されたことを表します。
↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

(D) 後入力・上位チャンネル優先再生

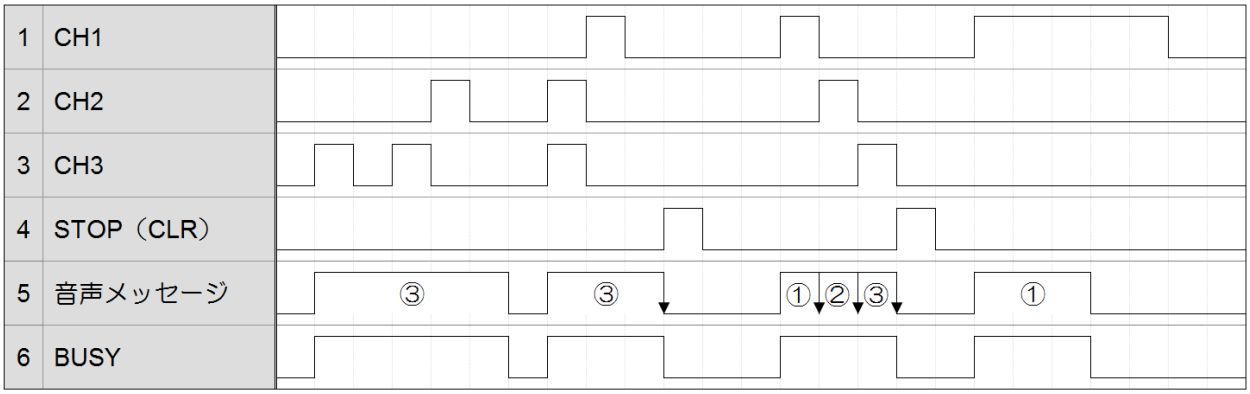
音声メッセージ再生中に、再生中の音声メッセージNo.より数字が大きい音声メッセージNo.が入力された場合、再生中の音声メッセージを停止して、後から入力された音声メッセージを再生します。再生中のメッセージNo.より数字が小さいメッセージNo.、または同じメッセージNo.が入力された場合は、入力が無効になります。

・ CLR端子またはSTOP端子に入力を与えることにより、再生中の音声メッセージを停止します。
・ 入力を保持しても、音声メッセージの再生は１回で終了します。

【タイムチャート　バイナリ入力時】



【タイムチャート　ビット入力時】



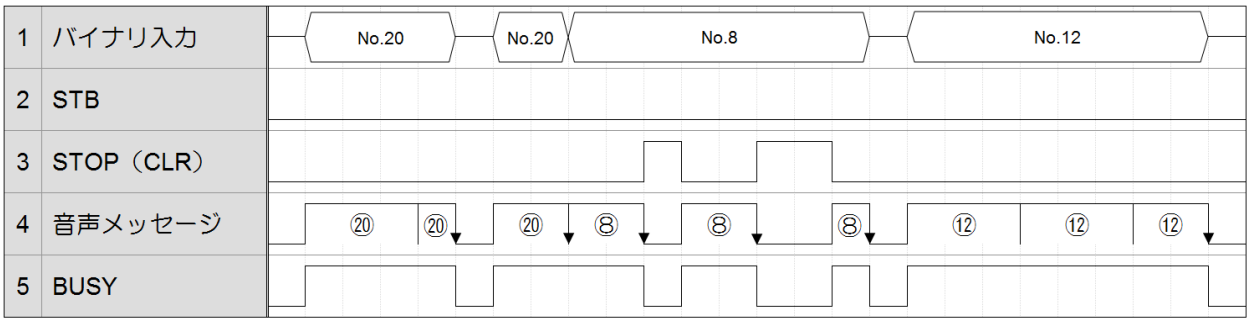
⑳・・・No.20 の音声メッセージが再生されたことを表します。
↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

(E) ホールド再生

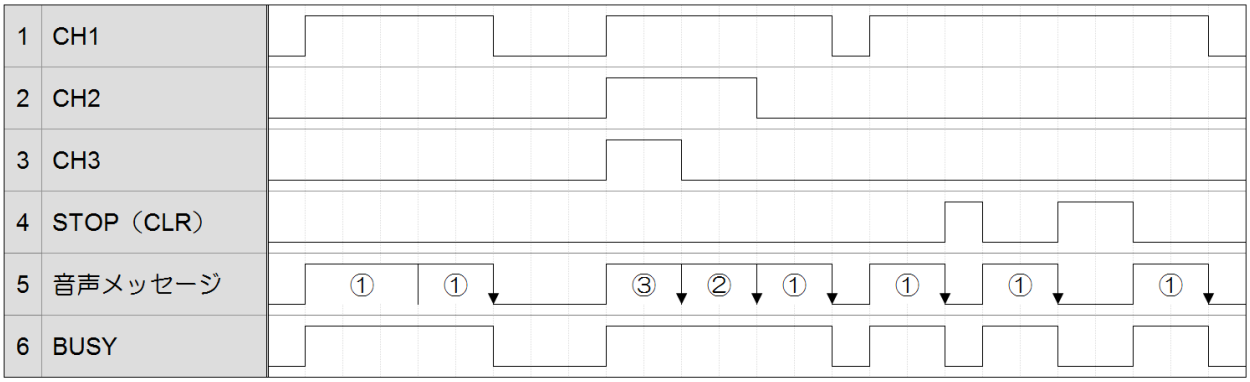
入力が保持されている間のみ音声メッセージの再生が可能です。
入力が無くなると再生を停止します。

- このモードではバイナリ入力時に STB 端子を使用しません。CH 端子と COM 端子を短絡させている間、音声メッセージが再生されます。
- 入力が保持されている間、繰り返し再生をおこないます。
- このモードは、ワンショット入力には対応していません。

【タイムチャート　バイナリ入力時】



【タイムチャート　ビット入力時】



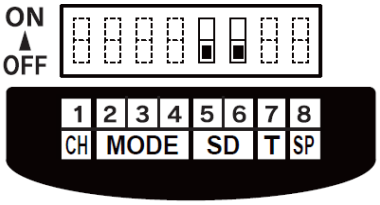
⑳・・・No.20 の音声メッセージが再生されたことを表します。
↓・・・再生中の音声メッセージが停止されたことを表します。

● バイナリ入力時、CH 端子の入力は 10ms 以内(※1)に確定してください。
10ms 以内(※1)に確定しない場合、異なる音声メッセージが再生されます。
※1 入力取込時間を 10ms に設定している場合です。入力取込時間を 50ms に設定している場合は 50ms です。

8-3. SD カード動作

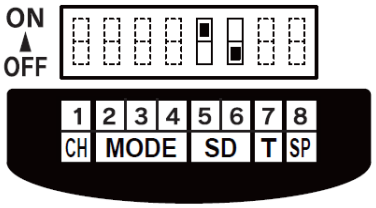
SD カードを挿入した際の動作を次の(a)～(d)に設定します。

(a) 通常モード

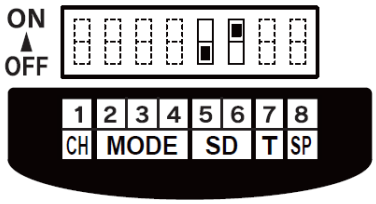


出荷時設定

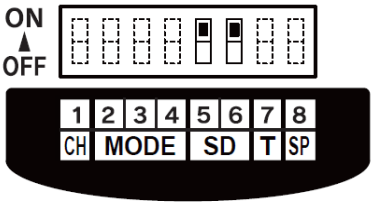
(b) 書き換えモード



(c) 読み出しモード



(d) SD カード常設モード



お願い

- SD カードは、別売りの SDV-2GP を使用してください。
  (☞ 41 ページ「① SD カード(MP3 音声メッセージ入り)」参照)
  他の SD カードを使用した場合の動作は保証されません
- SD カードをフォーマットする際は、FAT16 でおこなってください。FAT16 以外の形式でフォーマットすると、SD カードを認識できません。
- Windows10 等でフォーマットした際、弊社製品にて認識しないフォーマットになる場合があります。その際は、FAT16 のフォーマットが可能な OS にてフォーマットを行うか、SD カードアソシエーションが提供しているフォーマットツールにてフォーマットを行ってください。
  ○SD メモリカードフォーマッター（実行には管理者権限が必要です）
  https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter/index.html

【SD カードフォーマット方法】

パソコン上でマイコンピュータを開き、SD カードの入ったドライブを右クリックし、「フォーマット」を選択してください。

フォーマット形式は、FAT16 または、FAT を選択してください。

※フォーマットを実行すると、SD カード内のデータは全消去されます。

(a) 通常モード

本体メモリに書き込まれた音声メッセージを再生します。

お願い

● 通常モード時は SD カードを挿入したままにしないでください。音声メッセージにノイズ音が混入する恐れがあります。

(b) 書き換えモード

本体メモリの音声メッセージを書き換えることができます。

● 音声メッセージの書き換えには、次のものが必要になります。

・ 書き換え用データを保存した SD カード（推奨品：SDV-2GP）
(☞ 41 ページ「① SD カード(MP3 音声メッセージ入り)」参照)
データ作成方法については、PATLITE プレイリストエディタ２のヘルプを参照してください。

・ アプリケーションソフト（PATLITE プレイリストエディタ２）
(☞ 42 ページ「③ 音声書き換えツール」参照)

・ パソコン (対応 OS は、下記ページよりご確認ください。)
（☞ PATLITE プレイリストエディタ２ https://www.patlite.co.jp/peditor/)

・ SD カードリーダライタ（パソコンに内蔵されていない場合）

● 書き換えモードでのメッセージ再生はできません。

お願い

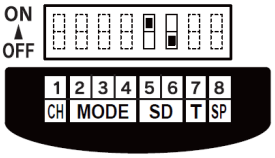
● 本体メモリの容量を超えた音声メッセージの書き換えは出来ません。本体仕様に合った SD カード（音声メッセージ）をご用意ください。

●音声メッセージ書き換え手順

① 電源を切ってください。

② 設定スイッチの 5 番を ON・6 番を OFF にし、書き換えモードに設定してください。

書き換えモード



③ SD カードスロットに書き換えデータを保存した SD カードを挿入してください。
データ作成方法については、PATLITE プレイリストエディタ２のヘルプを参照してください。

④ 電源を起動すると、データ書き換えが始まります。

- データ書き換え中は状態表示 LED(赤)が点灯します。
  →状態表示 LED(赤)が点滅する場合は、エラーが発生しています。
  ☞ 38 ページ「10. エラー表示」を参照してください。
- データ書き換えには最大約 120 秒かかります。(2MB の音声データを登録した場合)
- データ書き換え中に電源を切ると、正常に転送が完了しません。
  再度書き換えをおこなってください。

⑤ 書き換えが完了すると状態表示 LED（赤）が消灯します。
電源を切ってから SD カードを抜いてください。

⑥ 設定スイッチの 5 番を OFF にし、通常モードに設定してください。
電源を起動すると、書き換えたデータでの再生が可能な状態となります。

⑦ 音声メッセージを再生し、データが正常に書き換えられていることを確認してください。

● 音声メッセージが正常に再生されない場合
SD カードをフォーマット（FAT16）してからデータを作成してください。
(☞ 31 ページ「【SD カードフォーマット方法】」参照)

(c) 読み出しモード

本体メモリの音声メッセージを SD カードへ読み出すことができます。

- 読み出したデータは、再編集することができます。
- 読み出したデータで、本製品の音声メッセージを書き換えることができます。
- 読み出しをおこなっても、本体メモリのデータはそのまま残ります。
- 読み出しモードでのメッセージ再生はできません。

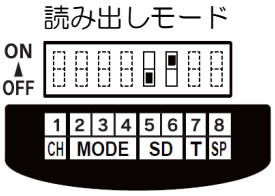
重要 !!

- 読み出し時には SD カード内のデータを全消去してから読み出します。重要なデータが入った SD カードを挿入しないようにしてください。

●音声メッセージ読み出し手順

① 電源を切ってください。

② 設定スイッチの 5 番を OFF・6 番を ON にし、読み出しモードに設定してください。



③ SD カードスロットに SD カードを挿入してください。

④ 電源を起動すると、データ読み出しが始まります。
データ読み出し中は状態表示 LED(赤)が点灯します。
→状態表示 LED(赤)が点滅する場合は、エラーが発生しています。
☞ 38 ページ「10. エラー表示」を参照してください。

・データ読み出しには最大約 120 秒かかります。(2MB の音声データを読み出した場合)
・データ読み出し中に電源を切ると、正常に転送が完了しません。
再度読み出しをおこなってください。

⑤ 読み出しが完了すると状態表示 LED（赤）が消灯します。
電源を切ってから SD カードを抜いてください。

⑥ SD カード内のデータを確認し、正常に読み出しができているか確認してください。

(d) SD カード常設モード

本体メモリを使用せずに、SD カード内のデータに従って音声メッセージを再生します。
音声データ容量の合計が 128MB の場合、約 240 分の再生が可能です。
(☞ 41 ページ「① SD カード(MP3 音声メッセージ入り)」参照)

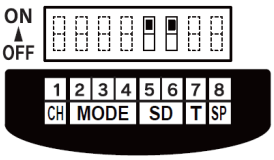
- SD カードを挿入したまま再生をおこないます。
- 本体メモリのデータはそのまま残ります。
- SD カードのデータのみ再生可能です。本体メモリのデータと組み合わせて再生することはできません。
- SD カードが挿入されていないと、音声メッセージを再生することができません。

【SD カード常設モード設定手順】

① 電源を切ってください。

② 設定スイッチの 5 番を ON・6 番を ON にし、SD カード常設モードに設定してください。

SD カード常設モード



③ SD カードスロットにデータを保存した SD カードを挿入してください。
データ作成方法については、PATLITE プレイリストエディタ２のヘルプを参照してください。

④ 電源を起動すると、SD カード内のデータが再生可能になります。
→状態表示 LED(赤)が点滅する場合は、エラーが発生しています。
☞ 38 ページ「10. エラー表示」を参照してください。

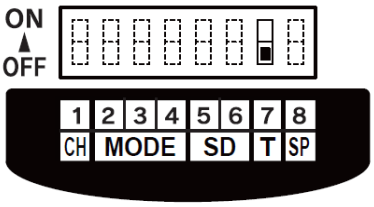
- 音声メッセージが正常に再生されない場合
SD カードをフォーマット（FAT16）してからデータを作成してください。
(☞31 ページ「【SD カードフォーマット方法】」参照)

8-4. 入力取込時間

入力端子の入力取込時間を 10ms または 50ms に設定することができます。

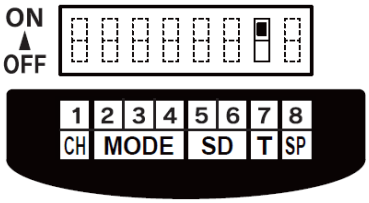
- 各入力端子と COM 端子の短絡は、設定時間以上保持してください。
- 出荷時は 10ms ですが、ノイズの多い環境下などでは 50ms に設定することで、ノイズによる誤動作を抑えることができます。

10ms



出荷時設定

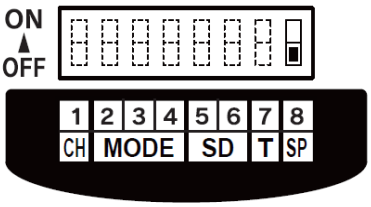
50ms



8-5. スピーカー出力

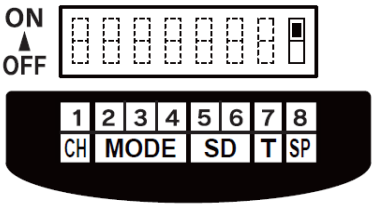
スピーカーの出力を 4W または 2W に設定することができます。

4W



出荷時設定

2W



9. 再生方法

- 「5. 取付け方法」～「8. 設定スイッチ」の設定をおこなってから、製品の電源を入れてください。電源表示 LED(緑)が点灯します。
- 各再生モードに対応した入力をおこなうと、音声メッセージが再生されます。
- 状態表示 LED(赤)が点滅する場合は、エラーが発生しています。

☞ 38 ページ「10. エラー表示」を参照してください。

・配線、および設定の確認については以下項目を参照してください。

設定項目	参照先
配線方法	10 ページ 「6. 配線方法」
音量の調整	20 ページ 「7. 音量調整方法」
CH 端子入力方法の設定	23 ページ 「8-1. CH 端子入力」
再生モードの選択	25 ページ 「8-2. 再生モード」
SD カードの動作設定	31 ページ 「8-3. SD カード動作」
スピーカー出力の設定	36 ページ 「8-5. スピーカー出力」

お願い

- 電源の ON/OFF による音声メッセージの再生はおこなわないでください。誤動作の原因になります。

10. エラー表示

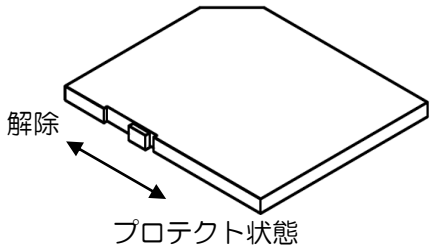
状態表示 LED (赤)が点滅している場合はエラーが発生しています。下表を参照して対応してください。

●エラー内容により、1 回～4 回の点滅を繰り返します。

状態表示 LED(赤) 点滅回数	エラー名	対策
1 回点滅	再生エラー	● 音声メッセージの書き換えが正常に完了していない可能性があります。再度音声メッセージを書き換えてください。 ● MP3 ファイルが壊れている可能性があります。元データがパソコン上で再生可能であるか確認してください。 ● 設定スイッチが正しく設定されていない可能性があります。設定スイッチの状態を再度確認してください。
2 回点滅	SD カードエラー	● SD カードが未挿入または、接触不良の可能性があります。SD カードを挿入しなおしてください。 ● SD カードが FAT16 以外の形式でフォーマットされている可能性があります。FAT16 でフォーマットしてください。 (☞31 ページ「【SD カードフォーマット方法】」参照) ● SD カードのライトプロテクトがかかっている可能性があります。ライトプロテクトを解除してください。（下図参照）
3 回点滅	データエラー	● PATLITE プレイリストエディタ２のヘルプを参照し、再生データが正常であるか確認してください。
4 回点滅	本体メモリエラー	● 本体メモリの容量オーバーの可能性があります。書き換えデータを確認してください。

※正常に操作しても動作しない場合は、最終ページに記載の弊社ホームページ”お客様サポート”内にある”お問い合わせ”よりお問い合わせください。

スライドスイッチが図の状態になっているとプロテクト状態です。スイッチを矢印の方向にスライドさせてプロテクトを解除してください。



11. バイナリ変換表

CH 端子 / 音声 / メッセージ No.	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH 端子 / 音声 / メッセージ No.	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7
No.1	●							No.33	●					●	
No.2		●						No.34		●				●	
No.3	●	●						No.35	●	●				●	
No.4			●					No.36			●			●	
No.5	●		●					No.37	●		●			●	
No.6		●	●					No.38		●	●			●	
No.7	●	●	●					No.39	●	●	●			●	
No.8				●				No.40				●		●	
No.9	●			●				No.41	●			●		●	
No.10		●		●				No.42		●		●		●	
No.11	●	●		●				No.43	●	●		●		●	
No.12			●	●				No.44			●	●		●	
No.13	●		●	●				No.45	●		●	●		●	
No.14		●	●	●				No.46		●	●	●		●	
No.15	●	●	●	●				No.47	●	●	●	●		●	
No.16					●			No.48					●	●	
No.17	●				●			No.49	●				●	●	
No.18		●			●			No.50		●			●	●	
No.19	●	●			●			No.51	●	●			●	●	
No.20			●		●			No.52			●		●	●	
No.21	●		●		●			No.53	●		●		●	●	
No.22		●	●		●			No.54		●	●		●	●	
No.23	●	●	●		●			No.55	●	●	●		●	●	
No.24				●	●			No.56				●	●	●	
No.25	●			●	●			No.57	●			●	●	●	
No.26		●		●	●			No.58		●		●	●	●	
No.27	●	●		●	●			No.59	●	●		●	●	●	
No.28			●	●	●			No.60			●	●	●	●	
No.29	●		●	●	●			No.61	●		●	●	●	●	
No.30		●	●	●	●			No.62		●	●	●	●	●	
No.31	●	●	●	●	●			No.63	●	●	●	●	●	●	
No.32						●		No.64							●

※ 表中の●は COM 端子との短絡状態を表しています。

CH 端子 / 音声 / メッセージ No.	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7	CH 端子 / 音声 / メッセージ No.	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6	CH7
No.65	●						●	No.97	●					●	●
No.66		●					●	No.98		●				●	●
No.67	●	●					●	No.99	●	●				●	●
No.68			●				●	No.100			●			●	●
No.69	●		●				●	No.101	●		●			●	●
No.70		●	●				●	No.102		●	●			●	●
No.71	●	●	●				●	No.103	●	●	●			●	●
No.72				●			●	No.104				●		●	●
No.73	●			●			●	No.105	●			●		●	●
No.74		●		●			●	No.106		●		●		●	●
No.75	●	●		●			●	No.107	●	●		●		●	●
No.76			●	●			●	No.108			●	●		●	●
No.77	●		●	●			●	No.109	●		●	●		●	●
No.78		●	●	●			●	No.110		●	●	●		●	●
No.79	●	●	●	●			●	No.111	●	●	●	●		●	●
No.80					●		●	No.112					●	●	●
No.81	●				●		●	No.113	●				●	●	●
No.82		●			●		●	No.114		●			●	●	●
No.83	●	●			●		●	No.115	●	●			●	●	●
No.84			●		●		●	No.116			●		●	●	●
No.85	●		●		●		●	No.117	●		●		●	●	●
No.86		●	●		●		●	No.118		●	●		●	●	●
No.87	●	●	●		●		●	No.119	●	●	●		●	●	●
No.88				●	●		●	No.120				●	●	●	●
No.89	●			●	●		●	No.121	●			●	●	●	●
No.90		●		●	●		●	No.122		●		●	●	●	●
No.91	●	●		●	●		●	No.123	●	●		●	●	●	●
No.92			●	●	●		●	No.124			●	●	●	●	●
No.93	●		●	●	●		●	No.125	●		●	●	●	●	●
No.94		●	●	●	●		●	No.126		●	●	●	●	●	●
No.95	●	●	●	●	●		●	No.127	●	●	●	●	●	●	●
No.96						●	●								

※　表中の●は COM 端子との短絡状態を表しています。

12. オプション販売品

① SD カード(MP3 音声メッセージ入り)

■ 型式　SDV-2GP-□□□

●□□□には依頼された音声データのフレーズ登録総数が記入されます。

フレーズ登録総数	型式
なし	SDV-2GP
1～16	SDV-2GP-016
17～32	SDV-2GP-032
33～64	SDV-2GP-064
65～128	SDV-2GP-128
以降、64 単位で増加	

※特注メッセージは別途スタジオ録音費用が発生します。

●ご依頼のあった音声メッセージを、SD カードへ登録して出荷します。

●各再生 CH は最大 16 フレーズまで登録可能です。

●MD・カセットテープ等の、データ支給による MP3 変換・登録もお受けします。
ただし、CD 等の著作物からの録音は、著作者の許可証(JASRAC の証明書等)が必要です。

② メッセージ CD-ROM

■ 型式　FV-CD-□□□

●□□□には依頼された音声メッセージのフレーズ登録総数が 64 単位で記入されます。

フレーズ登録総数	型式
1～64	FV-CD-064
65～128	FV-CD-128
129～192	FV-CD-192
・ ・ ・	・ ・ ・

※特注メッセージは別途スタジオ録音費用が発生します。

●SD カードを既にお持ちで、新規のメッセージが必要になった場合は、こちらをご利用ください。ご提供できる音声メッセージデータは、MP3 形式となります。

③ 音声書き換えツール

■ PATLITE プレイリストエディタ２

●プレイリストエディタ２は、下記 WEB サイトから入手することができます。
対応 OS、詳細機能につきましては、当社 HP にてご確認ください
（☞ PATLITE プレイリストエディタ２ https://www.patlite.co.jp/peditor/ ）

④ ホーン型スピーカー

■ 型式　SPW-5E

定格インピーダンス：8Ω、　定格入力：5W

●本製品のスピーカー出力を 4W に設定時、最大約 105dB の大音量を出力することができます。　(-6dB 1kHz 正弦波 データ再生時)

⑤ 自由文音声合成作成・音声メッセージデータ作成サービス

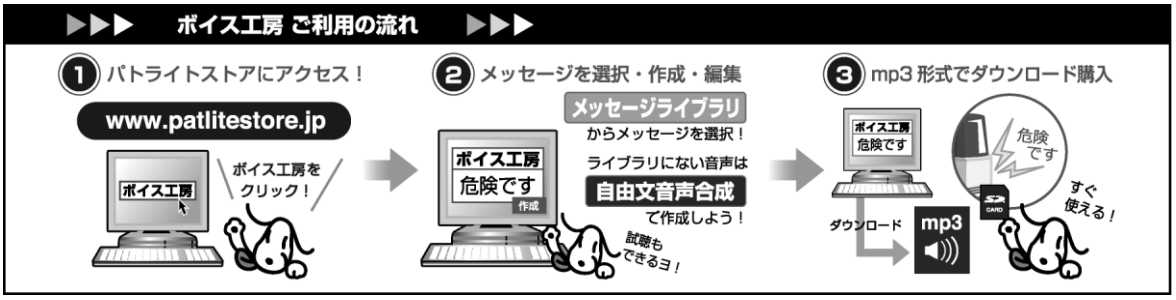
■ ボイス工房

●インターネット経由で、必要な音声メッセージをいつでも自由に作成できるオンラインサービスです。

●お客様が自由に入力した文章を音声データに変換して、その場で作成します。アクセントなどの編集も可能です。

●その他、メッセージライブラリから用途に合わせた、収録済みメッセージや、効果音・アラーム音もご利用可能です。

●詳しいご案内は、パトライトストアのホームページをご覧ください。
（☞ パトライトストア　https://www.patlitestore.jp/ ）



13. 修理を依頼される前に

トラブル内容	処置方法
スピーカーから音が出ない	● 本体の電源端子に規定の電圧がかかっているか確認してください。 (☞ 13 ページ「① 電源端子の配線」参照) ● 入力端子が正しく配線されているか確認してください。 (☞ 19 ページ「⑥ 入力端子の配線」参照) ● ボリューム(スピーカー用)を調整してください。 (☞ 20 ページ「7-1. ボリューム調整」参照) ● スピーカーが正しく配線されているか確認してください。 (☞ 15 ページ「③ スピーカー出力端子の配線」参照) ● スピーカーの定格が正しいか確認してください。 (☞ 15 ページ「③ スピーカー出力端子の配線」参照) ● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。 設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞ 22 ページ「8. 設定スイッチ」参照) ● SD カードの内容を確認してください。MP3 ファイルが登録されていない場合は、再生されません。 (☞PATLITE プレイリストエディタ２のヘルプ参照)
状態表示 LED(赤)が点滅する	(☞ 38 ページ「10. エラー表示」参照)
違うメッセージが再生される	● 入力端子が正しく配線されているか確認してください。 (☞ 19 ページ「⑥ 入力端子の配線」参照) ● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。 設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞ 22 ページ「8. 設定スイッチ」参照) ● 入力が正しいか確認してください。 (☞ 23 ページ「8-1. CH 端子入力」 および、☞ 39 ページ「11. バイナリ変換表」参照) ● SD カードの内容を確認してください。 (☞PATLITE プレイリストエディタ２のヘルプ参照)
AUX 出力が出ない	● 配線が正しいか確認してください。 (☞ 16 ページ「④ AUX 出力端子の配線」参照) ● 外部アンプ接続時の極性を確認してください。 (☞ 16 ページ「④ AUX 出力端子の配線」参照) ● ボリューム(AUX 用)を調整してください。 (☞ 20 ページ「7-1. ボリューム調整」参照 ● 外部アンプの入力インピーダンスが適切か確認してください。 (☞ 16 ページ「④ AUX 出力端子の配線」参照)
BUSY 出力が出ない	● 外部電源の極性・電圧を確認してください。

	(☞ 17 ページ「⑤ BUSY 出力端子の配線」参照) ● 接続機器に極性がある場合は極性を確認してください。 (☞ 17 ページ「⑤ BUSY 出力端子の配線」参照)
音が小さい (スピーカー、AUX 出力)	● 減音端子 DEC1/VOL, DEC2 が入力されていないか確認してください。 (☞ 21 ページ「7-2. 減音機能」参照) ● ボリュームを調整してください。 (☞ 20 ページ「7-1. ボリューム調整」参照) ● スピーカー出力の設定があっているか確認してください。 (☞ 36 ページ「8-5. スピーカー出力」参照) ● スピーカーの定格が正しいか確認してください。 (☞ 15 ページ「③ スピーカー出力端子の配線」参照) ● MP3 データの音量レベルを確認してください。MP3 データの編集・確認方法については専門書を参照してください。
音声書き換えができない	● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞ 22 ページ「8. 設定スイッチ」参照) ● SD カードの内容が正しいか確認してください。 (☞PATLITE プレイリストエディタ２のヘルプ参照) ● データサイズがメモリ容量を超えていないか確認してください。 ● SD カードのフォーマット形式が FAT16 になっているか確認してください。 ● SD カードのライトプロテクトを確認してください。 (☞ 38 ページ「10. エラー表示」参照)
音声読み出しができない	● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞ 22 ページ「8. 設定スイッチ」参照) ● SD カードのフォーマット形式が FAT16 になっているか確認してください。
設定スイッチの設定通りに動作しない	● 設定スイッチが正しく設定されているか確認してください。設定を変更した場合は、電源を再起動してください。 (☞ 22 ページ「8. 設定スイッチ」参照)
SD カードを読み込まない	● SD カードのフォーマット形式が FAT16 になっているか確認してください。 ● SD カードのライトプロテクトを確認してください。 (☞ 38 ページ「10. エラー表示」参照)

※正常に取付け、操作しても動作しない場合は、最終ページに記載の弊社ホームページ”お客様サポート”内にある”お問い合わせ”よりお問い合わせください。

14. 仕様

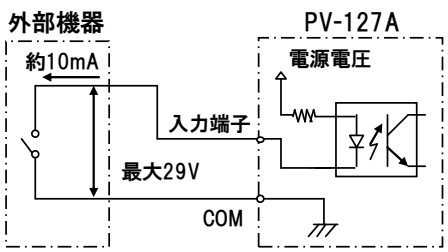
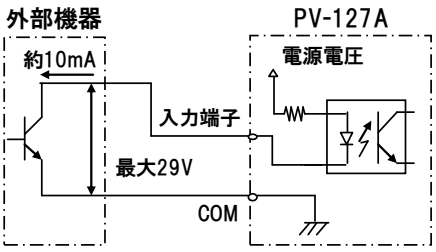
14-1. 一般仕様

型式	PV-127JSA	PV-127JLA	PV-127M2SA	PV-127M2LA
定格電圧	DC 24V		AC 100V ～ AC240V (50/60Hz)	
電圧許容範囲	DC19V ～ DC29V		AC 85V ～ AC265V (50/60Hz)	
定格消費電流	300mA (DC24V)		160mA (AC100V) 100mA (AC240V)	
条件	ボリューム最大、-6dB 1kHz 正弦波再生			
定格消費電力	6.5W (DC24V 時)		8.2W (AC100V 時) 8.5W (AC240V 時)	
条件	ボリューム最大、-6dB 1kHz 正弦波再生			
突入電流	10A 以下 (DC24V 時) 12A 以下 (DC29V 時)		15A 以下 (AC100V 時) 30A 以下 (AC240V 時) 35A 以下 (AC264V 時)	
使用周囲温度	-10℃ ～ +50℃			
使用周囲湿度	85%RH 以下、結露なきこと			
保存周囲温度	-40℃ ～ +80℃			
保存周囲湿度	85%RH 以下、結露なきこと			
取付場所	屋内			
取付方向	正方向、垂直方向			
耐振動性	19.6m/s^2 (JIS C 60068-2-6)（正方向取付）			
絶縁抵抗	―		電源充電部と非充電金属部間 DC500V メガにて 1MΩ 以上	
耐電圧	―		電源充電部と非充電金属部間 AC1500V にて 1 分間	
音圧レベル	スピーカー出力 4W 時：105dB　2W 時：102dB			
条件	SPW-5E（別売りスピーカー）使用、at 1m -6dB 1kHz 正弦波再生			
質量（公差:±10%）	0.80kg		0.85kg	
備考	RoHS 指令の閾値を超える規制物質の含有はありません。			

14-2. 性能仕様

型式	全機種共通
音量調整	ボリューム調整：Min. ～ Max.
	減音入力：スピーカー出力・AUX 出力　3 段階減音 -10dB,-20dB,-30dB (-6dB 1kHz 正弦波 データ再生時）
再生チャンネル数	バイナリ入力時 ： 127 / ビット入力時 ： 7
再生モード	ノーマル再生、メモリ再生、後入力優先再生、ホールド再生 設定スイッチにて選択可能
再生起動時間	200ms 以下　(音声データの先頭に無音部分がない場合、信号起動)
スピーカー出力	4W(適合スピーカー定格 4W 以上 8Ω) or 2W(適合スピーカー定格 2W 以上 8Ω) 設定スイッチにて選択可能
AUX 出力	0dBV 600Ω　（ボリューム・減音入力による出力調整可能）
BUSY 出力	最大 DC40V　500mA

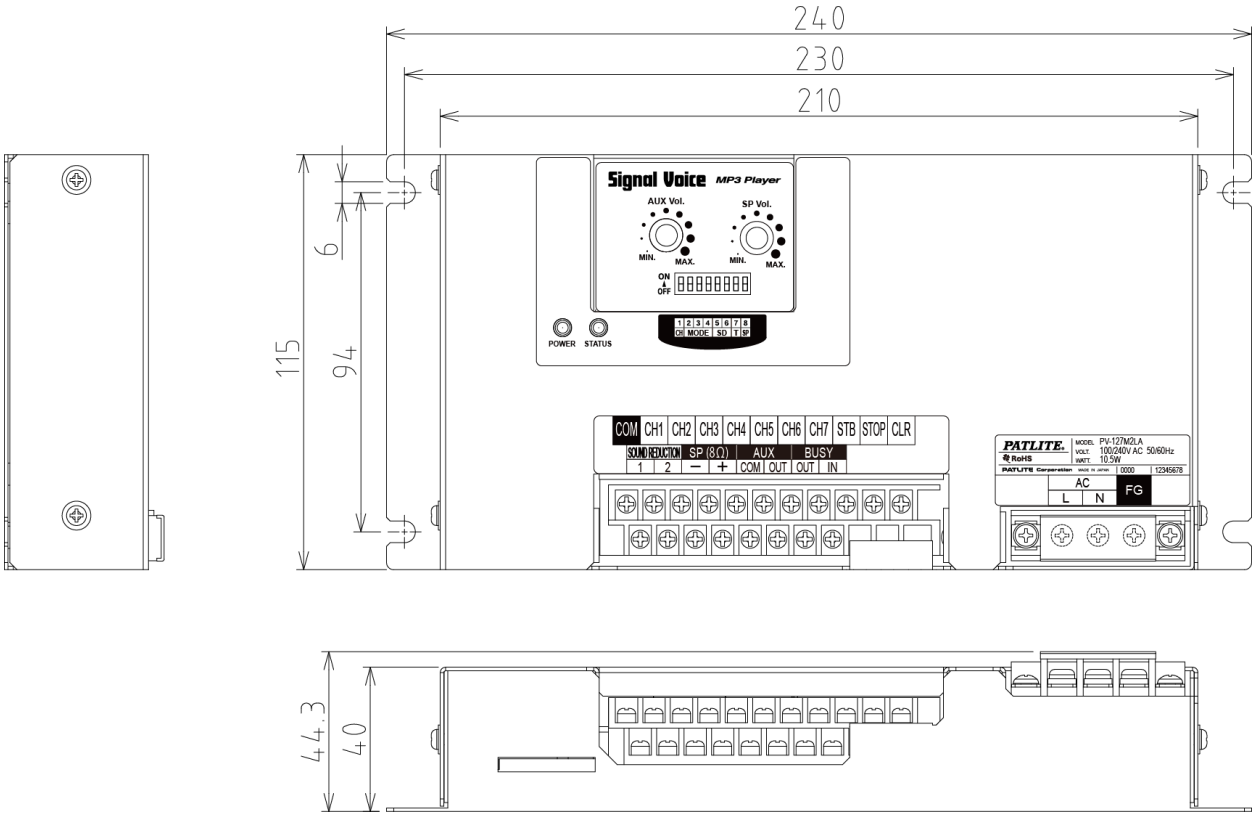
14-3. 信号入力仕様

型式	全機種共通	
信号優先順位	CLR 入力 > STOP 入力 > CH7 > CH6 > CH5 > CH4 > CH3 > CH2 > CH1	
入力取込時間	10ms 以上　or　50ms 以上 設定スイッチにて選択可能	
接点制御方式	無電圧接点　or　オープンコレクタ（NPN トランジスタ）	
入力回路構成	無電圧接点	オープンコレクタ（NPN トランジスタ）
		

14-4. MP3 データ仕様

型式	PV-127JSA	PV-127JLA	PV-127M2SA	PV-127M2LA
再生ファイル	MPEG1-Audio Layer Ⅲ (MP3)			
対応ビットレート	32kbit/s、64kbit/s(標準)、128kbit/s　　：Fs=44.1kHz			
最大再生時間 （標準ビットレート再生、1ファイルの連続した MP3 の場合）	本体メモリ使用時：128 秒	本体メモリ使用時：256 秒	本体メモリ使用時：128 秒	本体メモリ使用時：256 秒
	外部メモリーカード使用時 ： 音声メッセージのデータ容量が 128MB の場合、約 240 分			
本体メモリサイズ	1M Byte	2M Byte	1M Byte	2M Byte
対応メモリーカード	SD カード　推奨品：SDV-2GP(別売り)			
SD カードフォーマット	FAT16			
音声無音部	特にユーザ指定がない場合、各音声データの前後に 100ms 以下の無音を挿入			
音声書き換え	SD カード ＋ 専用ソフト(PATLITE プレイリストエディタ2)により可能			
音声書換え時間	約 60 秒 （本体メモリ 1MB 変更時）	約 120 秒 （本体メモリ 2MB 変更時）	約 60 秒 （本体メモリ 1MB 変更時）	約 120 秒 （本体メモリ 2MB 変更時）

外観図【mm】



● 仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

●本書の内容につきましては、改善のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする
株式会社 パトライト
https://www.patlite.co.jp